

大主家文書目録について

荊 木 美 行

大主家文書は、本学常務理事の井面護氏を通じて、旧史料編纂所に寄贈された文書群で、御師であった大主家に伝来したものである。平成二十三年早々に井面氏より、当時専任所員だった岡田登氏に対して寄贈に関する申し入れがあり、平成二十三年五月の所員会議において受け入れが決まった。史料編纂所では、すでに第二部門の業務として神宮御師文書の翻刻や研究をおこなっていたこともあり、あらたな資料の寄贈は部門の研究を活性化することにも繋がるので、よろこばしい限りであった。

大主家文書については、中世のものがすでに『三重県史』資料編中世1下にも翻刻・紹介されているが、当時は大主家に原文書が所蔵されていることが確認できず、伊勢市にある神宮文庫が所蔵する影写本によっていた（同書、史料解題一〇五七頁参照）。のちに、原文書が確認されたので、『三重県史』資料編中世2には、あらためて原文書による翻刻が掲げられているが、これも中世文書に限った翻刻である。しかし、大主家は御師の家柄であるとともに、商業も営んでおり、その関係の近世文書も少なくない。一連の文書は近世伊勢の商業史の研究にも裨益するところが大きいのである。

史料編纂所では、受け入れ後の平成二十三年十一月に中橋美帆氏の協力を得て大主家文書目録を作成したが、これはかならずしも公開を前提としたものではなかった。しかし、このたび、大主家文書を活用した研究が、研究開発推進センター助教の千枝氏の手によって、センター紀要に掲載されることになった。千枝氏は、当該論文のなかで目録の番号によって文書を紹介しておられるので、この機会に文書目録を併載しておく必要性を感じた。

全文書の紹介や研究についてはなおしばらくの猶予をいたたくとして、ひとまず、ここに大主家文書目録を掲げ、斯界の研究者の参考に供する次第である。

〔附記〕

なお、千枝氏の当該論文と本文書目録との間で、表題に若干出入りがある。これは、引用にあたって、同氏が一部改めたものである。この点については、同氏の論文の「凡例」を参照されたい。

大主家文書目録（平成23年11月14～25日中橋作成 平成27年2月10日千枝訂正）

親	子	表題	年	月	日	作成	宛名	形態	備考
1	1	借用申銀子之事（丁銀六百二匁四分二厘）	慶長13	11	23	松筑後守 正親(花押)/六兵衛(花押)	大神宮御師 大主源左衛門尉殿 参	豎紙	「右之銀子八大神宮御銀ヲ筑後守借用」/1-1～1-12はこより綴じ
1	2	〔書状、借用申候銀子之儀、孫右衛門殿種々被申候へ共只今行違不能成候〕		11	27	松筑後守 正親(花押)	大主源左衛門殿まいる 人々御中	折紙	
1	3	〔八日市郷内三村永代不売買屋敷指図〕	慶長14	7	吉日			豎紙	「右此屋敷永代売買不成屋敷也」「此図図坂殿二寺ノ郷内帳箱二寺ツ、三村二寺ツ宛有」とあり
1	4	〔書状、筑後守様借用被申候銀子、利足ほとも不濟迷惑被仕候〕		11	23	鳥兵 近(花押)	大主源左衛門尉様御報	折紙	虫損大
1	5	〔屋敷売券案、直銭二百貫文にて〕	大永07	8	21	沽主 米屋太郎左衛門 弘延判	横橋又六殿 まいる	豎紙	『三重県史』資料編中世2、557頁に翻刻あり
1	6	定 永代売渡申道者之事（参州国キラノ庄於我等知行一円、直銭十五貫文にて）	享禄02	5	吉日	布やひこ七郎/売主下馬所大たけ彦七郎 弘延(花押)/口入下前野小三郎/同三郎	買主 大ヌシや又六殿 まいる	豎紙	キラノ庄…幡豆郡吉良/『三重県史』資料編中世2、3557～558頁に翻刻あり。裏打紙(黒印あり)あり
1	7	おみ申代之事（道者質入証文、三川きら里三さと入申、合四貫八百文）	享禄06	4	3	布やひこ七郎	まへの小七殿 まいる	豎紙	後筆「返々廿日すき候者、此道者三里のふんなかし可申候 重弘(花押)」/裏書あり(なら善五郎殿・田中ひこ六殿宛)/『三重県史』資料編中世2、558頁に翻刻あり。裏打紙あり
1	8	定永代売渡申三河国上分之事（三河八名郡神谷御厨上分一円、直銭六十貫文にて）	天文20	11	18	幸福世古 光治(花押)/同勘八郎光任(花押)/口入新衛門殿/甚衛門殿/常智院	大主屋源左衛門殿後室へまいる	豎紙	『三重県史』資料編中世2、558～559頁に翻刻あり。裏打紙あり
1	9	定永代売渡申伊勢御供米之事(合壹段八六斗代也、料足八百文にて)	天文21	11	18	不破専光坊(花押)/同子高千代(略押)	伊勢大神宮 大主又六殿 参	豎紙	『三重県史』資料編中世2、559頁に翻刻あり
1	10	伊勢大神宮御供米田二永代売渡申下地之事(合式段大、八俵納、在坪出口大かいとうの東、代銭五貫三百五十文にて)	弘治02	11	晦日	高橋八郎兵衛尉重房(花押)	横橋源左衛門殿	豎紙	端裏書「高橋の八郎兵衛殿之文書也」/『三重県史』資料編中世2、559頁に翻刻あり/1-9と1-10の間に白紙一枚を挟んで綴じられている
1	11	永代美濃之国大北坂・荒尾・大衣非にて納可申候御供田、同年貢之事(在所・石高・小作人・給人等書上)	(天文08～弘治03)					豎紙	『三重県史』資料編中世2、559～560頁に翻刻あり。本紙は三枚継ぎ。裏打紙あり
1	12	〔書状、不計致参宮連々相積儀共可得御意候〕		3	18	飯沼源左衛門 直(花押)	大主又六様 貴報	切紙	『三重県史』資料編中世2、560頁に翻刻あり
2	1	〔書状、宮拜請申上候〕	慶安04	11	26	東シ小 村庄や棚橋加兵衛(花押)(印)	大主長左衛門様/同 源左衛門様	豎紙	2-1～2-14はこより綴じ
2	2	一札(去年松村善右衛門儀御旦中におみて自分借金有之、御旦退役被仰付奉畏候、廻)	寛政04	4		松村善右衛門 印/樋口勘右衛門 印/小川与三右衛門 印/森孝左衛門 印/森長左衛門 印/藤原庄兵衛 印	大主慶太郎殿/御親類御衆中	豎紙	
2	3	申合之一札(其元御所持之御旦所、本紙之通此度代金50両此方へ買取いたし候、下書)	年号	月	日	買主 村田小進 印/添証文之通 買主 誰印(抹消線あり)/請人 中西要人 印/請人 誰印	大主源左衛門殿/大主[]殿/誰殿/慶徳三郎大夫殿/村松善右衛門殿	豎紙	端書「売券証文本紙有、添証文也」
2	4	〔書状写、吉利支丹宗門改、十人組御改、主人役の儀につき〕	(明和05)	11		八日市場町 大主 亘 印/書判	曾祢町御年寄衆中	豎紙	文書3点を一枚に写してある/最初の1点は11月26日付

親	子	表 題	年	月	日	作 成	宛 名	形態	備 考
2	5	覚（茶碗、青じ水さし、田方釜等十八品、金十両相渡出入無御座）	寅	10	9	道具屋 兵衛（花押）	多気平内様/杉善右衛門様	切紙	破損・虫損甚だしい、途中で二つにちぎれている（後半の文書には2-5の付箋をつけ、はさみこみ）
2	6	覚（横橋西側之屋敷坪数合六十四坪之所、代新金二十二両にて永代売渡申候）	享保08	6	13	売主 大主長左衛門[印]/買主 三宅長助(印)/使 奥本三郎兵衛(印)	八日市場町 御年寄衆中	豎紙	
2	7	申彼七月十八日有江三郎兵衛存寄持参之書付写(今度家相立候様二仕度、親類・寄子中と相談之事)						豎紙	「御親類衆之事、大蔵殿、大二郎殿、彦左右衛門殿、来田帯刀殿」「家之義先規末谷勘左衛門殿御代之格を用ひ」
2	8	〔書状下書、大二郎を加へケ様御願奉申上候段一向難行、殊更家付之我々を合拜など申立引退申所存難意候〕						豎紙	2-7と関連
2	9	〔書状下書、此度上部大蔵母慶寿いん・同大蔵・福嶋大二郎、右三人之者共罷越候、福嶋家相続無心之事〕						豎紙	後欠/2-6～7と関連
2	10	申合候一札（各御主人大主大夫殿御家御相続人も無御座候二付、我々主人長左衛門家合宿被致、大主大夫殿御家目出度相続可被致候御事）						豎紙	後欠、本文の一部が完全にちぎれてはさみこまれている（2-10の付箋をつけてある）/端裏「長左衛門家来より大主家来へ遣又案文」
2	11	〔書状下書、勘左衛門不行跡二御座候、早速異見達而申入夫共不心得二候〕						豎紙	「内々にて家来共をかたらひ口上書杯を申付、一分トして聞着之段難行」/2-6～8と関連カ
2	12	申合候証文之事（我等伴主馬儀、親類寄子中并家来熟談之上貴殿へ御養子二被成、家相続可仕由、写）	延享05	5	3	上部大蔵/同女房/同越中		豎紙	端裏「五月廿日夜大蔵殿より勘左衛門殿へ被渡、帯刀殿へ右本文預ヶ被申」
2	13	申合候一札（大主大夫家身上立かたく似合敷相続人も無之候二付、其元御家之儀同名と申不違筋目二候得者、目出度御相続可被成候事）						豎紙	後欠
2	14	一札（今度大主家両家合宿引分ヶ申二付、以後出来申候借金買懸金大主家江引請申急度相済シ可申候、写）	享保12	5	7	大主大夫家来 伊藤八郎右衛門 印/宮田金左衛門 印/野入多左衛門 印/腰山佐次右衛門 印/内田善右衛門 印	大主長左衛門殿	豎紙	
3		〔河方左衛門督入道宛書状写、飛鳥井左衛門督雅教公一流不残、周仙禪師江相伝申〕	正保02	10	上旬	大主長左衛門 宗茂[朱印]		切紙	書状の年代は元龜元年12月1日とある/年代・作成は写したときのもの
4		〔被詞、一切成就被〕	元禄03	8	26	大司大中臣朝臣長寿（花押）	授与 秦宗芳	折紙	
5	0	木箱「延享元甲子年七月補任 摂社大間国生神社祝部 秦房宗」	延享01	7				木箱	5-1～5-9を一括収納
5	1	〔祭主下文、秦房宗宮掌大内人補任〕	享保20	8	29	祭主従三位行神祇大副中臣朝臣（花押）		豎紙	宮司施行状あり（享保20年9月17日付）
5	2	〔祭主下文、秦清毛宮掌大内人補任〕	元文04	1	24	祭主正三位行神祇大副大中臣朝臣（花押）		豎紙	宮司施行状（元文4年12月11日付）、外宮施行状（元文4年12月12日付）あり

親	子	表 題	年	月	日	作 成	宛 名	形態	備 考
5	3	〔外宮祢宜連署解状、大間国生神社祝部秦正永闕替職、秦房宗補任〕	延享01	6	24	大内人正六位上度会神主久長上	祢宜度会神主(花押)/(他9名花押あり)	豎紙	祭主下文(延享元年7月5日付)、宮司施行状(延享元年7月12日付)、外宮施行状(延享元年7月13日付)あり
5	4	〔祭主下文、秦宗充宮掌大内人補任〕	寛政01	閏6	17	祭主正三位行神祇權大副大中臣朝臣(花押)		豎紙	裏書「大主慶太郎戴之」/宮司施行状(寛政元年10月12日付)、外宮施行状(寛政元年10月13日付)あり
5	5	〔祭主下文、秦正輝宮掌大内人補任〕	文政06	2	25	祭主正三位行神祇權大副大中臣朝臣(花押)		豎紙	宮司施行状(文政6年6月5日付)、外宮施行状(文政6年6月7日付)あり
5	6	〔度会宗敬、高宮御塩焼物忌職補任状〕	明治02	7	1	御巫内人正六位上石部清直(花押)		豎紙	
5	7	〔祝詞文、五穀豊穰〕				外宮御師大主大夫敬白		豎紙	
5	8	〔祝詞文、近江愛知郡月参講中の大々御神楽を奏し奉る〕	天保02	2	19	豊受皇大神宮權祢宜從四位下度会神主光濟敬白		豎紙	度会光濟は神都の画人上部菟齋か
5	9	〔祝詞文、五穀豊穰、子々孫々の栄える事〕				外宮御師大主大夫敬白		豎紙	
6	1	永代讓渡シ申証文 内宮四頭職分之事(名跡無之不如意二而役職難勤)	延享02	3	29	赤塚七大夫 後家(印)/親類 松村右兵衛(印)/同 松村主馬(印)/家来 奥山四郎右衛門(印)	大主長左衛門殿	豎紙	6-1~6-6はこより綴じ
6	2	永代讓渡シ申証文 内宮四頭職分之事(祝い料として金子三十八兩受取)	延享02	3	29	赤塚七大夫 後家(印)/親類 松村右兵衛(印)/同息 松村主馬(印)/家来 奥山四郎右衛門(印)	大主長左衛門殿	豎紙	
6	3	一札(私弟雅楽儀、此度預御再縁二付、檀倉伊織為親分差遣申候)	天明08	4	24	橋村雅楽(印)/橋村左兵衛(印)/檀倉伊織(印)	大主美濃殿/御後室 小ちよとの/大主弥作殿/喜早因幡殿	豎紙	
6	4	奉差上一札(私儀大主氏相名乗候義、御吟味被遊候処、一向由緒無之儀御主人後家相名乗候段不調法之至奉誤入候)	寅	3		大主勘ヶ由家来八日市場町 茂右衛門(印)	大主織部様 御役人中/大主美濃様 御役人中/大主勘ヶ由様 御役人中	豎紙	「以来大主之家名子々孫々迄相名乗申間敷候」
6	5	一札(此度御造宮御用木曾錦織御供我等被召連、御扶持方一日羽書八分宛被下置候段奉畏候)	宝暦13	8		福嶋伊豆家来大間廣 忠蔵(印)/親類 請人 善八(印)	大主巨様御内 多氣平内殿	豎紙	
6	6	永代讓り渡申高宮御塩焼物忌職之事(金子十五兩にて)	元治01	6		讓り主 高向松大夫(印)/親類 惣代 孫福修理(印)/右同断 遂沼宮内(印)	大主長門殿	豎紙	
7		香式	宝暦03	1		長々軒		豎帳	
8	1	口上(石松重大夫羽書賄難成二付、此度一志久保町高田彦大夫江讓渡、質物者主人足代権大夫御旦所)	宝暦13	4		石松重大夫(印)/高田彦大夫(印)	坂市左衛門殿/御組中	豎紙	8-1~8-4はこより綴じ
8	2	〔書状、家来高田彦大夫羽書引請申候二付、手前旦所播州明石郡村数合二十五ヶ村質物二書入為申候処相違無之〕	宝暦13	4		足代権大夫(印)	坂市左衛門殿/御組中	豎紙	家数合1323軒

親	子	表 題	年	月	日	作 成	宛 名	形態	備 考
8	3	一札（一志久保町高田彦大夫羽書譲請組合申候、質物之儀者足代権大夫御旦所相違無之、彦大夫羽書相努候様御願申候）	宝暦13	5		坂市左衛門(印)/大主半三郎(印)/福嶋常松(印)/慶徳又左衛門(印)/河村勘兵衛(印)/正住平右衛門(印)/野村勘解由(印)/中山縫殿(印)/福嶋頼母(印)	年行事御中	縦紙	
8	4	奉願口上（此度羽書賄難成、高田彦大夫方江譲り請申度候、組合者是迄之通八日市場町坂市郎左衛門組二加り申候）	宝暦13	5		譲り主一志久保町石松重大夫(印)/譲り請人同町高田彦大夫(印)/譲り請人親類樋口勘右衛門(印)/八日市場町組頭坂市郎左衛門(印)	羽書 年行事御衆中	縦紙	
9		前祝部秦房宗居士 追悼詩・和歌・発句 留メ書	明和04	3	4			縦帳	
10	1	金剛寺和利木講 三十人 二月廿三日着・廿四日立 百濟寺下山本村講参 二十人 三月五日着・六日立	文化15					横帳	10-1と10-2は綴じ目部分をこよりで括ってある/献立・納金・諸入用
10	2	江州 二月十四日 蒲生郡金剛寺村和利喜講 二月晦日 愛知郡下里村講参り控	文化12			大主台所		横帳	献立・納金・諸入用
11		江州代参其外諸々参宮人食応之扣	文政13	5	吉日	大主番所		縦帳	
12		〔大主家年間行事書、二十三点一括〕						縦紙	バラバラのものを重ね折り一括/虫損甚だし/一枚目にあたる（正月の記述がある）ものの表題には「文政十三年庚寅正月吉日 大主家年間行事」とあるが、本文中には嘉永七年など、後の時代の書き込みもある
13		大主家年間行事	天保04	1	吉日	大主継枝改書之		縦帳	最後の丁が外れており、間に挟み込まれている/表紙見返し「享保二丁酉年記録古帳 同十六年辛亥古帳 天明八戌申歳古帳 天保四癸巳年 大主継枝改也」/神宮文庫に写本あり（興書に「昭和十二年五月十一日 右大主磯次郎氏所蔵原本ヲ以テ一校了（印）」とある）
14	1	江州今在家村講参 人数十壹人	天保09	3	6	大主台所		横帳	3月6日夕着、同7日早朝立/献立・納金・諸入用/14-1～14-3は綴じ目部分をこよりで括ってある
14	2	江州今在家村講参 人数廿壹人	安政03	3	5			横帳	3月5日着、6日朝立/献立・納金・諸入用
14	3	江州今在家村講参 人数三十三人	弘化02	3	4	大主台所		横帳	3月4日夕着、同5日朝立/献立・納金・諸入用
15		江州金剛寺村和利喜講 講中人数十人着 外二壹人村代参 都合十壹人也	天保10	2	19			横帳	2月19日着、10日早朝立ツ/献立・納金・諸入用
16		江州金剛寺村和利木講 講中十人着 外二壹人村代参 都合十壹人	安政02	2	16			横帳	2月16日着、17日立/献立・納金・諸入用
17		江州愛知郡湯屋村講参 人数三十八人	安政03		5			横帳	3月5日着、6日立/「本参 壹人前五百文ツ、十七人 追付 廿壹人 壹人前三百文ツ」/献立・納金・諸入用

親子	表題	年	月	日	作成	宛名	形態	備考
18	江州千枚村藤野四郎兵衛殿 家内別家 上下十二人 三日滞留	安政03	3	14	大主太夫番所		横帳	3月14日着、17日朝立/献立・納金・諸入用
19	江州百濟寺下山本村講参り	明治02	3	8			横帳	3月8日着、9日朝立/「人数三十九人泊り 九日立後両人立寄帰り 源兵衛・清吉殿」/諸入用の書付のみ
20	江州小八木村講参 人数卅六人	嘉永05	閏2	25			横帳	閏2月25日着、26日立/後筆「安政六己未年講参代両人立寄御供被請候事 文久四甲子年講参両人立寄御供被請候事」/献立、納金、諸入用/綴じ紐なし、本文丁外れ(20の付箋をつけてはさみこみ)
21	庭訓往来(写)				喜田坂之丞清書		竖帳	裏表紙「天保十三壬寅歳九月下旬 []門屋正兵衛書」
22	書翰用文章往来 平仮名付	天保13	10	上旬	喜多鹿空 十五歳写		竖帳	
23	多賀町 御祓納控札	天保14	9	吉日	大主大夫		横帳	縦14.5cm×横5cmの札をこよりで綴じたもの/土産の品名と氏名、納金額などが記されている
24	御餅形	元治01	12	26	大主番所		竖帳	「弘化三丙午年極月廿七日 安政六戊未年極月廿七日台所二而 屋来ル 文久元辛酉年極月改之」/餅の形、大きさ等を記したもの
25	申合候証文之事(福嶋家親類寄子并家来熟談之上貴殿御子息主午殿を我等養子二申請候)				養父 福嶋勘左衛門/親類[(欠)]		竖紙	後欠/端裏「五月廿日夜寄合、致印形間 殿へ渡申候」
26	[前欠書状、保金買懸等大主本家織部方江引請候上、何分二も織部家より相済シ可申事、写]	未	5	7	三村右京 印/幸福左京 印/松田長大夫 印/松木六神主 印/幸福内匠 印/檜垣七神主 印/福井土佐 印/松田新右衛門 印/出口信濃 印/久志本采女 印/三日月市兵庫 印/龍 外記 印	大主長左衛門殿 後室/同御親類/同家来 松村久左衛門/杉木甚右衛門/行岡伊兵衛	竖紙	ちぎれて2枚になっているが、重ね折り一括/2-14開運カ、享保12カ
27	[年賀状、初春の御寿き御めでたく存上候]		1	2	ち系	つく枝様	折紙	
28	[年賀状、初春の御寿何方二も納参らせ候]		1	2	ち系 より	つく枝様 人々御中	折紙	
29	[書状、御尋被下候日牌料黄金二両、月拝料一両二御座候]		4	26	等観寺	大主長左衛門様 人々御中	折紙	
30	[大主長左衛門宛書状三点一括]				上部大蔵		切紙	前欠・後欠あり/重ね折り一括
31	[書状、其御地御旦廻家来鈴木九兵衛差遣候处、九兵衛儀昨年病死仕、明年よりは多氣正右衛門と俸金之進と申親子為相勤可申候]		11	吉日	御師大主大夫(花押)	江州御旦所 御村々 御役人衆中様/御宿衆中様/御世話人衆中様	折紙	今年は正右衛門一人が勤めた/来年は十月早々に当地へ出立する
32	元治講仕法						竖帳	
33	[両宮造宮御材木御木取等、書上]						竖帳	綴り
34	[書状、今晚は少も急成認もの御座候、御物語旁伺書可仕候]				河野為俊	大ぬし君	切紙	

親	子	表 題	年	月	日	作 成	宛 名	形態	備 考
35		〔書状、私江何よりののり被下忝〕				ちか	藤田長大夫様 御返事にすへ	折紙	
36		〔年中行事書、断簡三点一括〕						縦紙	1月～3月、5月分/重ね折り一括
37		官令布達集（刊本）	明治22	11	15発行	伊勢国津市大字東町四拾四番地 松田活版所		縦帳/小本	本の内容とは関係のない地名等の墨書がある/旦廻りの際の控えカ
38		官令布達集（刊本）	明治22	11	10発行	伊勢国津市大字東町四拾四番地 松田活版所		縦帳/小本	本の内容とは関係のない地名等の墨書がある/旦廻りの際の控えカ
39		万覚帳	明治30	2	吉日夜	（裏表紙）喜磯		横帳	内に「東外城田村大字東原百三十一番屋敷 喜多磯次郎」と記名あり
40		〔大主長左衛門宛書状、四点一括〕				上部大蔵		切紙	重ね折り一括/
41		〔旦廻日記、断簡十一点一括〕						切紙	縦じ目なく、バラバラ/重ね折り一括/前欠・後欠あり/「十月十三日八代着 家老 松井角左衛門様 〃 山本源太左衛門様 御側御用人 竹田仙左衛門様（中略）右之衆中へ相廻り」/肥後細川藩
42		〔前欠文書〕	延享05	6	3	[]谷主殿/同 来田帯刀/寄子 羽根石見/同 為田孫右衛門/同 大主長左衛門 家来中	上部大蔵殿/同 御内方/同 越中殿	縦紙	日付・作成の一部・宛先部分のみ
43		〔書状、御せわさまに相成候とうけ給りありかたく〕						折紙	後半部分、虫損・破損のため開閉不能/日付・作成・宛先部分確認できず
44		〔和歌等書付、断簡二点一括〕						切紙	
45		〔和歌、短冊等書き方の事、断簡十四点一括〕						切紙	バラバラ、重ね折り一括、裏に継目印（「大主」の印）あり/「短冊裏書事」「詩を和する歌之事」「詩を歌と短冊事」等
46		〔豊受皇太神宮神拜式、式次第断簡十一点一括〕						罫紙	バラバラ、重ね折り一括
47		〔手習い帳面〕						横帳	書状の文体を練習したもの
48	1	〔復古、帳面用紙〕						横半帳	近代の金銭書付の裏面を帳面様に仕立てたものだが、書き込みなし/縦じ目なし/紙数19枚
48	2	〔復古、帳面用紙〕						横半帳	近代の金銭書付の裏面を帳面様に仕立てたものだが、書き込みなし/縦じ目なし/紙数20枚
48	3	〔復古、帳面用紙〕						横半帳	近代の金銭書付の裏面を帳面様に仕立てたものだが、書き込みなし/縦じ目なし/紙数16枚
49		〔壺絵図、断簡〕						折紙	「真」「行」「艸」「真々」と中央に字がある壺4つの絵
50		〔断簡、宛先のみ〕				福嶋勘左衛門殿/親類 谷主殿殿/同 来田帯刀殿/[]羽根石見殿/同 為田孫右衛門殿/同 大主長左衛門殿 家来中		縦紙	宛先部分も一部破損

親	子	表 題	年	月	日	作 成	宛 名	形態	備 考
51		〔断簡、手代共之内万一御 旦那所にて私欲を構へ候 か又八奉公如在之儀候 八、扶持御離し可被成候〕						豎紙	前後欠、本文の一部し かない
52		〔伊勢物語、断簡〕						切紙	切紙2点(元々は豎紙1 点だったものが分断さ れている)。「むかしお とこいかなりけること をおもひけるおりにか よめる おもふ[] いは[]た にやみ ぬへき われとひとし き人しなれば」
53		〔目録、雄剣一振、龍蹄 一匹代黄金十枚〕						折紙	
54		(白紙二点一括)						折紙	

(いばらき よしゆき・皇學館大学研究開発推進センター教授)